新　生

東北新生園入所者自治会

平成二十九年九月　十日印刷
平成二十九年九月二十日発行

新　生

平成二十九年九月　十日印刷
平成二十九年九月二十日発行

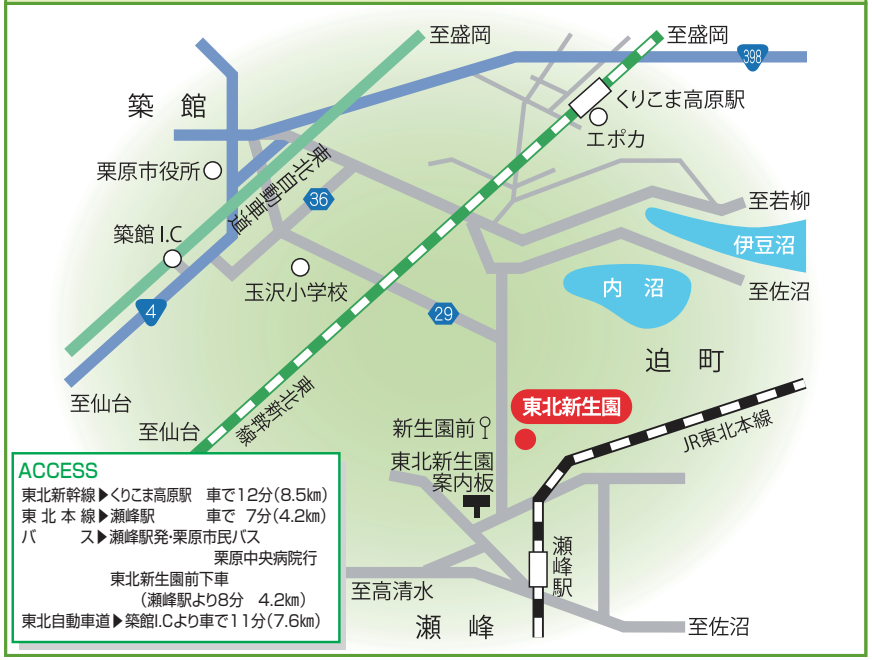
新生第六十九巻第三号

第六十九巻第三号

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢１番地
土地面積	３５１,２９１㎡
建物延面積	２５,２８０㎡
開園	昭和１４年１０月２７日
医療法承認病床	２４４床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男２８名　女４３名　計７１名
職員定員数	１５０名（平成２９年４月１日現在）
園長	医学博士　横田　隆

東北新生園交通案内図



第三回　三遊亭遊馬 独演会

― 平成29年６月29日 ―

園内日誌

平成二十九年　四月～六月

《四　月》

十四日　観桜会行事（抽選会）

《五　月》

三十日　春季バス旅行（塩釜方面）

《六　月》

二十三日　宮城県パネル展見学バス旅行
二十八日　第三十四回高松宮杯記念
　　近隣親善ＧＢ大会
二十九日　第三回 三遊亭遊馬独演会

【謝寄贈図書欄】

平成二十九年　四月～六月（敬称略）

楓　岡山県　邑久光明園
多磨　東京都　多磨全生園
高原　群馬県　栗生楽泉園
菊池野　熊本県　菊池恵楓園
愛生　岡山県　長島愛生園
青松　香川県　大島青松園
姶良野　鹿児島県　星塚敬愛園

ハンセン病問題をどう学ぶか～
大阪府　ハンセン病問題講演会
　実行委員会

ハンセン病回復者の家族・遺族が被った被害を語る～
大阪府　ハンセン病問題講演会
　実行委員会

平成29年９月10日　印　刷
平成29年９月20日　発　行

発　　行　　東北新生園楓会(自治会)
編　　集　　楓　会　文　化　部
印　　刷　　川内印刷株式会社

〒989－4601
宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一
東　北　新　生　園　電話 0228 (38) 2121㈹
発　行　所　東北新生園入所者自治会　電話 0228 (38) 3600

新生・第六十九巻第三号……目　次

表紙……「夏の風景（園内全景と花火大会）」

よろしくお願い致します……看護師…岡田育子…(2)
宜しくお願い致します……看護師…岩井丈典…(5)
よろしくお願い致します……看護師…高橋智江…(7)
随筆「雑　談」……今野きよし…(9)

── 新生文芸 ──

詩……選者…佐々木洋一…(12)
短歌……選者…皆川二郎…(17)
俳句……選者…山田桃晃…(18)
川柳……選者…雫石隆子…(20)
よろしくお願いします……看護助手…鈴木えり菜…(22)
初めまして……看護助手…遠藤衣里…(25)
食いしん坊な私……看護助手…村上なほみ…(26)
お世話になります……看護助手…伊藤えりか…(28)
四コマ漫画「釣りっこ」……原作　小富士桃生　まんが　北村蝶…(30)
園内日誌・謝寄贈図書

よろしくお願い致します

看護師
岡田育子

はじめまして。昨年八月から第一病棟で勤務させていただいております。よろしくお願い致します。

私は仙台市出身で、昨年の結婚を機に登米市民の仲間入りをし、ご縁あって東北新生園でお世話になることになりました。

この一年新しい職場環境や、初めての車通勤（若葉マーク）にドキドキの毎日でしたが、無事一年が経過しホッとしております。

日々、入所者の皆様、スタッフの皆様にご指導頂き、現在に至ることを心から感謝しております。

私について、ほんの少しご紹介させていただきます。

新生園に勤める前は、仙台市内の民間病院に勤務しておりました。

内科、特殊疾患病棟、ホスピス病棟（緩和ケア）と勤務し、振り返れば早や十年以上…。

中でもホスピスでは、余命宣告を受けた方とご家族に対し、個別性（その人らしさ）を尊重した看護について、学びを深めることができました。まだまだ経験浅い頃、初めて末期の方を受け持ち、四苦八苦して悩んだ日のことや、患者様やご家族様と共に過ごさせていただいた、貴重な時間や思い出がたくさんあります。

また、患者様との信頼関係を築くのは簡単なことではありませんが、少しでも気持ちが通じ合えたと感じる瞬間は、大きな喜びでありやりがいにも繋がりました。

病気と向き合うということは、穏やかなことばかりでは無く、辛い選択を迫られる場面も多くありました。そんな時、自分ならどう考え選択するのだろうか？自問自答の日々でもありました。

また、看取り・看取られることが看護師としてだけでなく、一人の人間として誰にでも訪れる現実であることを目の当たりにしました。そこで、自分らしい最期を迎えるためにはどうしたら良いか？まだ、模索中ではありますが、死生観について考える機会を与えられたのだと感じています。

次に、私の楽しみについてですが、ささやかながら、小さな木や花を育てております。ガジュマルの木は、幹が高さ十センチメートルほどの小さいものです。とある道の駅で見つけました。はじめは変化がなく元気が無いと思っていたら、急に葉がもくもくと大きくなり、とても気に入っています。他には香りの良いクチナシの花が鉢植えされています。たまに、気が付くと白く小さい花がひとつ咲いています。このような、ちょっとした変化が嬉しく思います。気長に、お世話を忘れないよう大切にしていきたいと思います。

次に家族のことについて触れたいと思います。一応、新婚です。旦那さんは穏やかな性格で、看護師の仕事を理解し家事も協力してくれるので、甘えてばかりの私です。車やバイク好きで、以前はバイクの後ろに乗せてもらい、風を切る感覚を味わったものでした。

今はバイクも故障してしまって、乗ることはできませんが、ツーリング中のライダーを見かけるとあま～い記憶が思い出されます。

私は運転が得意ではありませんので、慣れるため少しずついろんな所を走るよう心掛けてきました。そして、今年に入り高速道路を走れるようになったのです。そんな事と笑われそうですが、慎重派の私にとっては大成長。旦那さんに頼らず、遠くても一人で用足しに行けるのです。慣れても安全運転は心掛けていきたいと思います。

登米市に移住して良かったことについては、空気が澄んでいて、星空がよく見えます。
仙台にいた時は町のネオンが邪魔していたのでしょう。他に、新鮮な産直野菜が安く手に入ることです。これからも、美味しい空気と食べ物に恵まれた環境の中で、しっかり体調管理しながら頑張りたいと思います。
まだまだ未熟者ですが、ハンセン病と新生園の歴史について知識を深めつつ、看護師として皆様のお役に立てるよう経験を積んでいきたいと思います。宜しくお願い致します。

宜しくお願い致します

看護師
岩井丈典

昨年十月より第一病棟でお世話になっております、岩井丈典と申します。宜しくお願い致します。
出身は気仙沼で、看護学校卒業までを過ごしていました。その後仙台に移り現在に至っております。
仙台の自宅から新生園までは約七十キロあり、時間にして一時間三十分ほどかかります。通勤当初は大変と感じることもありましたが、最近は通勤にも慣れて、周囲の景色を見る余裕も出てきました。
心配していた冬の雪道に関しても問題なく通勤が出来て、安堵しております。
私は妻と子供三人、犬一匹、猫七匹の大所帯で過ごしております。初めはここまで増える予定はありませんでした。
初めて動物を飼い始めたのは十四年ほど前でした。その時は犬を飼いましたが、最初は思うように世話が出来ず大変だった為、動物を増やすことなど考えてもいませんでした。
そんな時、捨てられていた老齢の猫に出会い飼う事となりました。この猫がとても人懐っこく、家族全員が犬派から猫派に変わりました（笑）
残念ながらその猫は一年ほどで亡くなってしまいましたが、それまで泣き虫だった幼稚園児の次男が、猫が来てから泣かなくなり、精神的にとても成長したのを今でも鮮明に覚えています。
その後も動物病院から引き取って来たり、たまたま行った河川敷で生まれて間もない猫を拾ってきたりと・・・あれよあれよという間に増えて、現在の数になりました。

今では人間の数より増えてしまい、狭い我が家が、余計に狭くなりました。

みんな元気があり過ぎて、朝は猫たちの大運動会で起こされることもしばしばです。

生活が動物中心になっている為、朝起きて最初にする事が猫のトイレ掃除です。

その後ご飯を食べさせたり、犬の散歩をしたりと、毎日忙しく過ごしております。

それでも朝起きた時、横で寝ている動物たちの姿を見ると、頑張ってご飯代を稼がないと、と思う今日この頃です。

次に私の趣味についてですが、大の楽天ファンで野球観戦が趣味で、息子二人と良く応援に行きます。初めて行った時は家族三人大人しく見ていましたが、何度か足を運ぶうちにはまってしまい、今ではユニフォームを着て帽子をかぶり、応援バットを持って声を張り上げて応援しています。声を出すことを躊躇っていた子供達も、いまでは周りの誰よりも大きな声で応援しています。

昨年は観に行っても、ため息を付く事の方が多かったですが、今年は好調で気持ちよく帰れる事の方が多くなり、今から日本シリーズを楽しみにしています。

そしてもう一つの趣味がプロレス観戦です。幼少の頃からプロレス好きでしたが気仙沼にいた際はなかなか見る機会がなく、仙台に来てから観戦することが増えました。その頃とは選手の顔触れも変わりましたが、今ではプロレス観戦に息子たちが喜んで付いて来るようになりました。試合が終わって帰る際に、興奮しながら話をする子供たちを見ると、また違った意味で楽しくなります。

幸運にも息子たちと同じ趣味を持つことが出来たので、今後も一緒に野球やプロレスを観に行ければ良いなぁと切に感じています。

入職して十ヶ月が過ぎ、物覚えが悪く周りにご迷惑をかけることも多々ありますが、一日も早く一人前に支援が出来る様に努力していきたいと思っております。

宜しくお願い致します。

よろしくお願い致します

看護師
高橋智江

三月一日より第一病棟で勤務しています、看護師の高橋智江です。

私は岩手県一関市出身です。実家の周りには田んぼが多く、近くには北上川という大きな川が流れています。

緑が多く新生園と同じようにとても自然豊かで、のんびりした所です。

毎年夏には「おらが自慢のでっかい花火大会」が開かれます。北上川湖畔をステージに大小約一万発の花火が打ち上げられますが、中でも川面を照らす水中花火や、クライマックスに打ち上げられる二尺玉は大迫力でとても見応えがあります。

私の実家は打ち上げ場所からとても近くにあり、花火の火の粉が落ちてきたり、地鳴りがして家が揺れます。幼い時はそれが怖くて母の実家へ逃げていた事もありましたが、今では毎年八月十六日は実家に帰り、バーベキューをしながら花火見物をするという恒例行事になっています。

私は現在結婚し栗原市築館に住んでいます。四人家族で、二人の子供がいます。小学二年生と幼稚園の女の子です。まだまだ手のかかる子供達なので、朝は毎日慌ただしく送り出し、それからの出勤です。

今は子供達が夏休みの為、朝はいくらかは気持ちにゆとりをもてるのですが、帰って来てからは、宿題が終わっているかを確認したり、習い事に連れて行ったりと、子供中心の生活を送っているような感じです。

趣味は温泉巡りをすることです。二十代前

半の頃は関東の方の温泉に沢山行きました。特に露天風呂があるところが好きで、富士山や、桃源郷、海など周りの景色を楽しみながら温泉にゆっくり入りことで、心身ともにリフレッシュすることが出来ました。

結婚して子供が生まれてからは、遠くまで行くことは出来なくなりましたが、近くでもお気に入りの温泉を見つけて、のんびりとお湯に浸かっている時がとても幸せに感じます。子供達も小さい時は足がつかなくて、泡のブクブクを怖いと言ってゆっくり入ることが出来なかったのですが、最近は子供達も温泉の楽しさを覚えたようで、温泉に行くと言うと喜んで付いて来るようになり、一緒に温泉を楽しんでいます。

これからはもう少し遠くの方へも足を運べたらいいなぁと思っています。

私が看護師になって今年で十年目になります。新生園を受ける前に一度、新生園に見学に来た時にスタッフの方が入所者一人一人に、とても丁寧に対応している姿が印象的でした。今までの職場ではスタッフが不足してて、多忙な業務の中で毎日仕事をこなすのが精一杯で、患者さん一人一人ときちんと向き合えていないのではないかと、感じていました。

その中でこちらを見学し、私もこのように入所者の方と向き合えるような看護が出来たらと思いました。入職して六ヶ月になりますが、まだまだ分からない事も多く、周りのスタッフに助けてもらいながら、なんとか仕事をしている状態です。目標にはまだ遠い気がしますが、新たな気持ちで頑張っていきたいと思っています。

こんな私ですが、これからもどうぞよろしくお願いします。

随筆

雑談

今野きよし

A　入所者　B　介護員

A　松田さんはいつも話題豊富ですね
B　私は話題なんてございませんよ
A　何かありそうな感じがします
B　そんなことございませんよ
　まじめですから
A　はぁそうですか
　私は勘違いしておりました
B　どんなことですか？
A　そう改まれますと、何も言えませんね
B　そうですか。おかしいですね
A　なんか私、松田さんによく見られているようですね
B　昨日ね、S町の花火大会に行ってきました
A　それは良かったですね。見たかったです
B　そうでしょう。きれいでしたよ
　見せたかったです
A　一人ですか？それとも誰かと
B　二人でした。とても気の合う二人でね
A　それは良かったですね。お名前は？
B　貴方の知らない人です
A　そうですね。外の方で知っている方は居りませんから
B　私にはとても良い人です
A　それは早く知りたいですね
B　良い人なので教えられません
A　花火を見る時もご一緒でしたか？

B　そうでした
　お盆には来ることになっております
A　早く会いたいですか?ははんあの方ですか
B　勘違いしていらっしゃらないですか
　どうしてですか?お盆という事で
A　そうですよ
B　お盆と言ったのでああと思ったでしょう
A　私はそうは思いませんよ
　お盆に来られる方は無言ですから
B　そうですね。無言の方ではないですよ
A　私も無言の方ではないと思いました
B　娘がくる事になっております
　それで待ち遠しいのです
A　そうでしょう。私も娘さんだと思いましたよ
B　そうですよ
　そうでないと話は出来ませんからね
A　私は思いました
　来たつもりで二人で花火を見たのですね
B　つもりさんですね
　そのつもりが来るのを待っているのです
A　そのつもりさんですか
B　つもりさんが居られるのは心強いですね
　貴方の家からお盆にはどなたも来ないのですか?
A　夏は暑いから来られないと言っておりました
　秋になって涼しくなったら来ると
B　お宅は近い所と伺っておりますが?
A　近くとも遠いんですよ
　六十年も家には言った事ありませんので
B　浦島太郎です
　浦島さんですか。伝説の人ですね
A　伝説の人間です。私は浦島太郎になった
　つもりで家に行ってきます
B　浦島さんですか。頭はまだ黒いですね
A　浦島太郎でしたら、白ひげに白髪ですね
B　私はそうだったと記憶しております
A　八月四日の七夕会のこと聞きたいですね
B　温度の七夕会の時は浴衣着るのですか?
A　浴衣を着たいと思っております
　その時、着付けお願いしたいのです
B　着付け良いですよ

B　浴衣着るの楽しみです
A　そうですか。そう言っていただけると
　私も嬉しいです
B　去年も着たような気がします
A　去年は皆さんの作品を読んで
　それから西瓜割りでしたね
B　今年も去年のようになるのですか
A　楽しみですね。私は胸がわくわくするんです
　どういううわけか
B　それだけ若いんですね。若さの塊ですね
A　若さですか。私はそう言われると返事に困ります
B　そうですか。皆さん元気があっていいですね
A　貴方は人を喜ばせるのが上手ですね
B　私は何もありませんよ。ただ感じた事だけを話しただけです
A　感じた事ですか。感性豊かなんですね
B　褒められましたね。嬉しいですね
A　そうですね。人を褒めると言いう事は難しいですね
B　松田さんには大変お世話になりましたね
A　私にですか。何もしていませんよ
　前の職場の縫製に居た時ですよ
B　面倒な縫物をお願いしましてね
A　あれですか。仕事ですから当たり前の事です
　そう言われましても、お世話になったのは
B　事実ですから。心の中に思っております
A　そう言ってもらえると、働き甲斐があります
　なんだか纏まりのない話ばかりして
B　申し訳ありませんね
A　良いじゃないですか。雑談ですから
　そうですね。会議ではないですからね
B　私は雑談でも良かったです
A　私達は朝から晩までお世話になって
　生活しておりましても、お話しする時間
　はほんの僅かですね
B　私達もそうですよ
　仕事の合間のほんの短い時間ですから
　どうもありがとうございました
　またの機会が楽しみです

詩

佐々木 洋一選

◇ 入 選 ◇

《鰈刺し網》

北 辰一硯

本家の爺さんが学校に
天気の悪い日は来ないが
毎日のように私を迎えに
先生に断って早引けするために
午後一時半頃に来てくれる
それは戦争が激しくなって
兵隊に取られて屈強な男が
漁村にいなくなり漁をする若者が
見られなくなったのである
本家の家でも男三人が
兵隊に取られ途方に
暮れていました

本家の舟には時々乗せて貰い
櫓や櫂を漕いだり真似事は
させて貰いましたが本格的に
やるのは初めてであり湾内とはいえ
刺し網をするのは大変ではあるが
兵隊に行って戦っている人達を
思えばこの位の事は
大丈夫という爺さんの言葉に
励まされて漁をすることにした

今のように船外機もなく
櫓と櫂で舟を漕ぐのである
最初は爺さんに教えてもらい乍ら
網を捌くのも難しく

怒鳴られながら一つ一つ
舟の仕事を覚えてゆきました

小さい時から漁師になる事は
当たり前の様に思っていましたから
苦労とは思わなかったし
仕事を覚えることをいつしか
楽しみに思える様になっていました

網刺しにさぁ行くぞ!!
爺さんが大きな声で私に声をかける
「ハイ」と返事をして舟に乗り込む
爺さんが櫓を私が櫂を漕ぐ
力負けして右や左に小舟が動く
爺さんが少し力をゆるめて
櫂のリズムに櫓を合わせてくれる

二人の呼吸が少しずつ合うように
小舟は真っ直ぐに進んでゆく
そうこうしている内に網を刺す
現場に付き準備にかかる
海も空も青く風も丁度よい
山もくっきりと見えている

いつものように山を見上げて
爺さんは石峰山の稜線の中ほどと
右から伸びている山の稜線が
交わっている所を目印に錘と浮きを
投げ込むのである浮きに屋号の
イの字の焼き印が付いているので
外の舟との識別になるのだ

爺さんは櫓を漕ぎ乍ら網を片手で
すべらせるように海に入れる
私は腕を伸ばし乍ら
小さな錘のついた
網を爺さんのペースと舟の速さに
合わせ縺れないように網を
ピンと張って海に入れる
爺さんは私にその調子その調子と
声をかける

刺し網をして今日で三回目であり
少しはコツがつかめて来たようだ
爺さんが二人でやっていけると
思っていた
最後の網を刺し終えて錘を
浮きを投げ入れて私に教える様に
よく見ておけよ中磯と北に伸びて
いる半島が交叉する所が最後の
浮きを入れた所だ頭に叩き込んで
おけと言い乍ら爺さんは仕事の後の
煙草の一服に火を付けながら
美味そうに吸っている

海はあくまでも青く
風は頬にやさしく伝わって来る
今日はいい場所に網を刺したから
明日の網上げが楽しみだ
鰈がどっさりかかっているぞと
自慢顔に
海の男らしく豪快に笑う

私もつられて
明日は大漁だと爺さんと二人で
笑い合う声が青い波間を
渡って消えてゆく
長閑なのどかな海であった

【選　評】

《鰈刺し網》

北　辰　一　硯

戦争という時代背景の中で、漁師として働かざるを得なくなった年少の作者。
爺との労働を通じての阿吽の呼吸に、生きる喜びが凝縮されている。
懐かしさの中からしっかりとした実感が汲み取れる力作。

◇佳　作◇

《歌碑の丘》

今　野　きよし

風もなく
静かな朝
向こうに見える
山の頂整然と
並んで見える
西の方から
松の木五、六本
山の頂に
貞明皇后様の
御歌碑がある
記憶を辿る

つれづれの
ともとなりでも
なぐさめよ
われにかわりてと
御歌碑がある

歌碑の丘には
しょっちゅう
登っていたが
ここ二十五年ばかり
ご無沙汰つづきである
皇后様より
賜ったという
楓が十数本
今年も青々と
茂っている

秋の紅葉が
楽しみである
真向かいに見えるのは
メタセコイアといい
世界で一番高い
木と云われている

今から五、六年も前に
新聞に載っているのを
見たことがある
場所は秘密という
静かな朝が
気持ちをすっきり
させてくれる

第34回 高松宮記念杯
近隣親善ゲートボール大会

－平成29年６年28日－

選手宣誓
昨年優勝 岩手千厩チーム

新田新生チーム

今回優勝の岩手千厩チーム
2連覇

短歌

皆川二郎選

◇入選◇

園内の史上初めて百歳の輝かしき日を
療友は迎えり　　北辰一硯

【選評】　ともに療養する仲間が、園内では初めて百歳を迎えることの喜びを素直に表現している。それは輝かしいものであると、作者の感想を詠っているのが良い。作者はもとより園内の皆様が元気に生活されることを心から願いたい。この他にもその喜びを詠った作品が佳作にあるので併せて鑑賞願いたい。

相撲界の歴史に残るあの一番今見てもなお涙出てくる　　北辰一硯

【選評】　作者は、今月横綱稀勢の里の作品四首寄せているが、評者もまた同感であり、同力士のファンの一人である。今場所もケガにより途中休場となったが、十分完治して出場し、唯一の日本人横綱として活躍することを願いたい。

◇佳作◇

満開の花にも祝いのあるごとく百歳迎え
し友を言祝ぐ　　北辰一硯

怪我をして二敗となりし稀勢の里綱の
意地かけ優勝を成す

子供等と地域の人達裏切りて保護者会
長臨ちゃんを殺む

俳句

山田桃晃選

◇入選◇

牡蠣筏岸に残骸土用波

今野きよし

【選評】　東日本大震災による牡蠣筏の残骸が、今なお散在している浦戸諸島。津波の恐ろしさを土用波に託した一連の作品。瑞巌寺の臥竜梅は今なお健在ある。旅行楽しかったでしょうね。

代筆のペンをよぎりぬ流れ星

園永泊

【選評】　代筆は心と心がつながり。本人に代わって想いをペンに託すのであるが、ペンの乱れであろうか、流星の音のかすかによぎる光の速さをペンが知っている。幸多かれと。

東に源氏西に平家の蛍飛ぶ

斎藤照雄

【選評】　源平合戦を思い起こす。東に源氏蛍、西に平家蛍。いずれにしても雌雄が互いに光の交信をしながら交尾をする。まさに光の中で一生を過ごす昆虫。きれいな水に住み、平和の光を楽しみたい。

◇佳作◇

土産物売り娘滓刺土用波

今野きよし

バス旅行声盛り上がる土用波

瑞巌寺奥に鎮まり土用波

土用波難を逃れし臥竜梅

里心押し寄せて来る遠蛙

園永泊

本当の事を喋るや流れ星

古里の窓と結ばる天の川

ハッピ着てたたいたあの日の盆太鼓

斎藤照雄

夕顔の花咲く丘よしのぶ恋

日暮らしの音さわやかに一日終え

川柳

雫石隆子選

◇入選◇

《人位》

畑から直行便です夏野菜　長沼蓮花

【選評】　夏野菜は成長が早く、毎日収穫して食べきれないほどでる。採り立ての野菜をすぐに食卓に載せる。まさに中七の「直行便」がぴったり。

《地位》

九十年いまだ落ちない錆がある　今野きよし

【選評】　作者は卒寿を迎えられたのでしょうか。生まれてから、ずっと持ち続けた「錆」は、人生そのものでもありましょう。時にうとましい「錆」ですが、力強く生きてこられたからのご長寿と思います。

《天位》

俺の乗る列車が来ない無人駅　桃生小富士

【選評】　待っているのは何処行きの列車でしょうか。幸福駅、それとも銀河駅までの旅でしょうか。目的地まで乗り込む列車が来ないのは、まだ人生の旅は途中であるという事でしょう。急がず、旅は楽しみたいものです。

◇佳作◇

ハーモニカ吹けば心が丸くなり
ハ氏病に命預けて七十年　斎藤照雄

失明のそこから開けた新世界
ご飯モリモリ夏痩せなんか知らないよ　桜山南仙

こぶひとつ世界平和の邪魔になり
人魂もデートで来るや迎え火に
清き一票釣って釣られて選挙戦
罪びとも位牌になれば立派です　千歩

夏バテと西瓜の種を吹っ飛ばし
ゴメンネとうつ向くアケビロを閉じ
茹だる夏ケラケラ笑う向日葵の花
幸せはお帰りなさいの缶ビール

忘れずにメールが届く仕送り日
一面に緑のじゅうたん蓮の花　長沼蓮花

人生を錆と遊んで楽しんだ
隠したい本音と遊ぶ舌の先
全快の喜び下げて看護の日　今野きよし

繙けばきっといい日がやって来る
森友学園砂で築いた城だった
この歳まで生きたと坐骨神経痛
善悪の間で人は生きている　桃生小富士

よろしくお願いします

看護助手
鈴木　えり菜

平成二十七年の十月一日より本館で勤務させて頂いております。

東北新生園に勤務してから早一年が経ちました。ついこの間までは、早く仕事を覚えようと焦る気持ちから、空回りして失敗する事が何度もあったのですが、周りの方々の優しいご指導と、お支えを頂きながら次第に仕事を覚えることが出来ました。

これからは、もっと丁寧に仕事をして効率を上げて行き、前向きな気持ちで頑張っていこうと思っている次第です。

簡単に私の自己紹介をさせて頂きます。休日は買い物やネットショッピング、映画鑑賞等をして過ごしています。天気の良い日はドライブしながら、旅行や自然を見に行くことが好きです。

幼い頃から中学までは習い事をしていて、ピアノ・書道・剣道を習いました。剣道は父親と兄がやっていたので、練習を見に行っているうちに自然と私もするようになり、中学校まで続けていました。

剣道は「道着」や「防具」を身につけるのですが、夏は蒸し暑さと汗などが倍増して独特な匂いが漂い、冬は足がキンキンに冷えて感覚が無い中で練習したことが、普段の生活ではなかなか体験する事が無い事なので、今では良い思い出になったと思っています。

出身地は迫町新田です。地元の新田第一小学校、新田中学校を卒業しました。新田第一小学校は私達の卒業を最後に新田第二小学校と統合し、中学校の敷地内に移動して新しく

新田小学校が設立されました。

その後、旧第一小学校の近くを通りかかることがあり、見てみると介護施設へと変わっていました。思い出の母校が無くなってしまった事に少し寂しさを感じました。

小学生の頃は、新生園に何度か学校行事でお世話になった事があります。合唱や楽器演奏をして交流を楽しみました。入所者さんや看護師さん、看護助手さんなど、たくさんの方々に出迎えてもらい、あたたかい所だなあと感じたのが第一印象でした。最近になってから分かった事があり、新生園に新田小学校の分校があったという事で、現在も建物が昔ながらの雰囲気で、残されている建物を見た時は懐かしさと親近感を感じました。

私が中学校三年生のとき、東日本大震災に遭いました。卒業式を目前に音楽室でクラスの合唱練習をしていたところ、突然地鳴りの音が校舎全体に響いたのです。三階の音楽室が大きく縦横に揺れ始め、立っていられない程の揺れだったのを覚えています。

私達生徒は床にじっと座り、揺れがおさまるのを待ち、余震が続く中で先生の指示に従いグラウンドへ避難し、しばらく待機との指示と共に雪がちらつき始めていました。

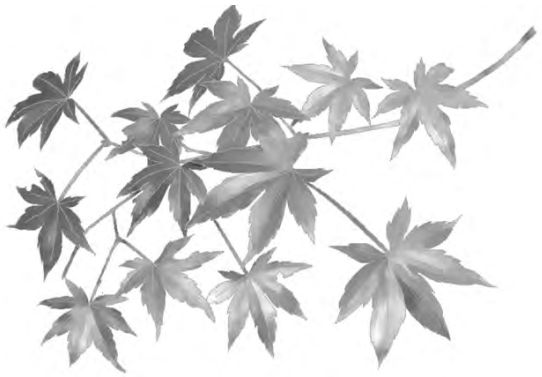
その日から約二週間、私は生まれて初めて水道と電気の無い生活を体験しました。発電機で多少の電気は確保していて、テレビをつけて見たところ、初めて見る津波の映像と原子力発電所の様子が流れていて、今起きている現状を理解するまで何とも言葉が出ませんでした。私達の卒業式は二週間ほど遅れて生徒と父兄、先生方だけでの簡易的な式が行われました。

私の地元は大きな被害が無いとはいえ、道路はひび割れマンホールが飛び出ていて、体育館の天井は照明と共に剥がれ落ちている状況でした。今まであたり前に見ていた景色や建物が、あの一瞬でこんなにも変わってしまうものなのかと、自然の恐ろしさを感じた瞬

間でした。あの震災を体験し、一日一日を大事に過ごして行かなければいけないのだと、改めて感じさせられる出来事でした。

新生園に勤務して、行事がたくさんあることに驚きました。秋のコスモスゲートボール大会での妃殿下の御接待や、コ・メディカルハンセン病学会でのお手伝いアシスタント等に参加し、新生園ならではの貴重な体験をさせて頂き、楽しみながら勉強をさせて頂いています。

まだまだ未熟な私でございますが、少しでも皆様のお力になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。多大なご迷惑をおかけすることがあると思いますが、今後も皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



初めまして

看護助手
遠藤衣里

六月一日より庶務課医局係として勤務させて頂いています遠藤衣理（えんどうえり）と申します。

簡単にではございますが、自己紹介をさせて頂きます。

住まいは大崎市古川で、自宅から新生園までは二十分ほどの距離です。

趣味はドライブ、スポーツ観戦です。ドライブは、県内はもちろんの事、県外まで足を運びます。観光地や道の駅に行き、その土地の名物を食べたり、温泉に入ったりとリフレッシュしています。

スポーツ観戦は、野球とバレーボールをよく見ています。

野球は、特に高校野球が好きで、時間があるときは球場まで足を運びます。

バレーボールは、小中学校でやっていたという事もあり、応援には熱が入ります。最近は、忙しさを理由にバレーボールをしていませんが、運動不足解消の為、またやりたいと思っているところです。

医療事務の専門学校を卒業後、病院で医療事務、一般企業での事務の仕事をしてきました。半年が経過し、まだまだ至らない事ばかりで、ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、よろしくお願い致します。

食いしん坊な私

看護助手
村上　なほみ

東北新生園に期間業務職員として採用され半年が経ちました。主な業務は、医局係と受付での来客対応、庶務課の事務助手などです。

東北新生園で働き始めて、自然あふれる広大な敷地に驚きました。そして行事の多さにも驚きました。

ゲートボール大会、夏祭り、花火大会、有名な歌手や落語家の慰問等々、この他にも色々盛り沢山であっという間の半年間でした。特に、ハンセン病コ・メディカル学術集会では、お手伝いとして参加し、大変貴重な経験となりました。

私の自己紹介をさせていただきます。出身は登米市中田町で、現在は登米市迫町で夫と子供と三人で暮らしています。

小学校から始めた柔道は弐段を有しており、高校まで続けました。

今となっては過去の栄光ですが、中学の頃に東北大会でベスト8までいきました。今でも姿勢がいいといわれることがありますが、柔道のおかげだと思います。

趣味という程本格的ではありませんが、家庭菜園が好きです。自分で育てた野菜を収穫する瞬間が楽しいです。

今年はトマト、ミニトマト、モロヘイヤ、ツルムラサキ、茄子、ニラ、ネギ、バジルを植えていました。過去には、苺を植えてみましたが、とてもすっぱくて買った方が美味しいと思い、その後は植えていません。トマトは簡単でいいのですが、収穫直前でハクビシンらしき動物に先に食べられてしまい、食うか食われるかの戦いです。バジルは、どんどん成長するので、どんどん摘んでミキサーにかけてジェノベーゼパスタを作ります。

バジルの葉やトマトは、冷凍にしておくと色々な料理に使うことが出来るので便利です。来年はスナップエンドウを育ててみたいです。

食べることが好きな私は、毎年六月下旬になると、山形まで行ってさくらんぼ狩りをしてきます。おなかいっぱいになるまで食べまくり、それからさらに蕎麦を食べて帰るというのが定番のコースとなっています。

避難訓練の時には、炊き出しの芋煮が美味しくて、おかわりまでいただいてしまいました。ここまで食べ物のことばかり書いてしまいました。

こんな食いしん坊な私ですが、仕事のほうも一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

お世話になります

看護助手
伊藤　えりか

こんにちは。看護助手として勤務しています、伊藤えりかです。

昨年の四月一日から十月いっぱいまで福祉室に配属されておりましたが、配置換えにより、十一月一日付で本館庶務課医局係を務めています。どうぞ宜しくお願いいたします。

はじめに私の自己紹介をしたいと思います。私は「生粋の栗原っこ」です。出身は登米市のお隣にある栗原市の栗駒というところです。

町のほとんどが山地で、自然が豊かな栗駒山では残雪が見られ、その形が「種まき坊主」や「駒の形」のように見えると言われています。それらは春の訪れと種まきの時期が来た合図にもなっています。

また、世界谷地原生花園では六月の下旬ころ、黄色いニッコウキスゲの花が咲きそろいます。

栗駒は行事も盛んで、私の住む岩ケ崎地区では、七月の下旬に子供たちのお囃子による山車祭りが行われます。たくさんの人でかついだ、大きなお神輿が、夜間にねり歩く宵祭り、お囃子に合わせて元気なかけ声とともに、山車を引いて地区を回る本祭りがあります。

地元の名物は、イワナや駒ゆべしが有名です。和洋レストラン・チロルのボリューム満点なカルボナーラ、金龍のヒレカツ定食は私のオススメのメニューです。ほかにも地元で愛される食べ物屋さんがたくさんあります。（ほかのお店が気になる方には、こっそりお伝えします。）

趣味は、好きな歌手のライブに行くことやカラオケをすることです。幼稚園から中学卒業までピアノを習い、中学では吹奏楽、高校では合唱、大学のサークル活動ではクラシックギター、というように、いつもそばに音楽がある日々を送ってきました。

最近はよくドライブに行くので、その土地の美味しいものを食べたり、アニマルカフェで犬や猫、ふくろうといった動物と触れ合ったり、冬にはスノーボードをしたりと様々なことに興味をもっています。

学生時代も自宅からくりこま高原駅まで車を走らせ、そこから新幹線とバスを乗り継いで片道一時間半をかけて大学に通っていました。大学では、学芸員になる夢を持ち資格を取得しましたが、希望する場所で働くことが叶わず、地元の幼稚園で勤務していました。

さて、東北新生園の事務業務に就いてから一年と半年が経とうとしています。福祉室では福祉係として季節のイベント行事に携わらせていただき、園内散策マップである「ウォーキングマップしんせいえん」のイラストや、十二か所の地点に設置してあるスタンプのデザインを担当させていただきました。

現在は、環境整備やメッセンジャー業務で各センターに向かう際、また医局に向かう途中に入所者の皆様と廊下ですれ違うと「今日は四葉のクローバーを拾ったのよ」と笑顔でお話ししてくださる方や、「いつもご苦労様」と感謝の言葉をかけていただくようになりました。

入所者の皆様と接する機会が増えるにつれて顔を覚えていただき、自然とお声をかけていただくことが増え、とても嬉しく感じるとともに、なによりのパワーの源となっています。

こちらに採用していただいてから、わかったことなのですが、私の曽祖父は洋服の仕立てをする仕事をしておりました。東北新生園が開園した当時、入所者の方が身に着ける衣服が不足しているということを知り、浴衣や肌着といった衣類を持って駆けつけたそうです。東北新生園に来たのも、必然のことであったようなご縁を感じています。

入所者の皆様からいただいた笑顔のパワーをエネルギーに変えて、穏やかで安らぎのある生活を守り、住みよい環境を支えていくことに力を注いでいきたいと思います。そのためにも、接する方の望んでいることは何かということを常に考えながら、一生懸命業務に取り組んでいきたいと思います。今後とも変わらぬご指導のほど、よろしくお願いいたします。

4コマ まんが

釣りっこ

原作・桃生 小富士
まんが・北村 小蝶

第19回 夏祭り花火大会

平成29年7月22日